

平成23年7月15日

議員各位

文化観光局長

堺市立文化館 与謝野晶子文芸館 における  
企画展「晶子さんのお宅拝見」の開催について

与謝野晶子文芸館では、7月16日(土)から9月11日(日)まで企画展「晶子さんのお宅拝見」を開催します。当館では、毎年夏休みに企画展「晶子さん」シリーズとして与謝野晶子に興味を持ってもらえるよう親しみやすいテーマを取り上げてきました。シリーズ5回目となる本展では、エピソードを交えて晶子さんが使っていた愛用の家具や食器など約50点展示し、晶子さんの日常生活を紹介いたします。

記

1. 名称 企画展「晶子さんのお宅拝見」
2. 会期 7月16日(土)～9月11日(日)
3. 会場 堺市立文化館 与謝野晶子文芸館  
〒590-0014 堺市堺区田出井町1-2-200 ベルマージュ堺式番館  
(JR阪和線「堺市」駅下車 徒歩約3分)  
電話：072-222-5533 FAX：072-222-6833
4. 開館時間 午前9時30分～午後5時15分(入場は午後4時30分まで)
5. 休館日 月曜日(休日の場合は開館)  
休日の翌日(翌日が土・日・休日の場合は開館)  
\*展示替臨時休館日…8月9日(火)
6. 観覧料 一般500円、高校・大学生300円、小・中学生100円  
(アルフォンス・ミュシャ館もご覧いただけます)  
\*小学生未満・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方は無料。  
\*20名以上の団体は割引があります。
7. 主催 (財)堺市文化振興財団 堺市立文化館

8. 展示資料数 約 50 点

9. 展示概要

- ①晶子さんの生家－堺駿河屋－
- ②いらっしやいませ－玄関と庭－
- ③お客さんいろいろ－応接間－
- ④生活のために－書齋－
- ⑤子どもたちと－子供部屋－
- ⑥一家団らん－居間－

昭和2(1927)年、晶子さんは東京の荻窪に念願の自宅を構えます。結婚後、晶子さんの生活は華やかなものと思われがちですが、決して経済的に豊かでなく、借家住まいで8回も転居していました。そんな与謝野家の家計を支えていたのは晶子さんでした。時には気の進まない仕事を引き受けその合間に家事をこなしながら、歌の創作や評論といった幅広い活動を行い 11 人もの子どもを育てたのです。

本展では、エピソードを交えて晶子さんが使っていた愛用の家具や食器など約 50 点を展示します。「情熱の歌人」としてだけでなく、生活者としての晶子さんに触れ、その幅広い活動の背景には、家族への思いと家族からの支えがあったことを知っていただく機会となれば幸いです。

【主な展示資料】

・ にわたりの玩具 (個人蔵)

晶子が明治 45(1912)年ヨーロッパ旅行時に子どもたちに買ったお土産。めんどりの背中にはひよこたちが 5 匹乗っている。

・ 友禅の被布 (鞍馬寺蔵)

晶子が友禅の着物を子どもたちのために仕立て直したもの。「被布」とは着物の上に羽織る上着のこと。

10. 与謝野晶子について

与謝野晶子 (1878-1942) は、近代文学史を代表する歌人として有名で『みだれ髪』をはじめ生前に 23 もの歌集を出版しています。また「君死にたまふこと勿れ」などの詩や『源氏物語』の現代語訳、女性の権利に焦点をあてた評論などの執筆、さらには、文化学院の創設に関わるといった教育活動にも力を注ぎました。与謝野鉄幹(寛)の妻であり、11 人もの子どもを育てた母でもあります。

問い合わせ先 文化観光局文化部文化課 担当者：近藤

TEL：072-228-7143 (内線) 2414

FAX：072-228-7900